

熊本でも乳がんについての啓発活動や心のケアなど、取り組みが広がっています

熊本で活動している団体をピックアップ

NPO法人 ピンクリボンくまもと

「平成19年に結成。
乳がんの早期発見・検診の大
切さを発信し続けてきました」

結成当初は「ピンクリボン」という言葉自体、熊本で知っている人は4割ほど。しかし取り組みを始めてから認知度は9割にのぼり、「検診受診率も少しづつ向上していると感じています」と秋月さん。毎年10月のピンクリボン月間では、様々なイベントも行っています。



代表 秋月 美和さん

*10月8日(祝・月) ピンクリボンイベント開催

午前／みわクリニックで体験
マンモグラフィ・体験エコー
(要予約)、午後／くまもと県民
交流館バレーで、「喝!」料理道
場でお駄染み・吉本多恵子さん
の「元気の出るレシピ」の講
演なども! 詳しくはHPへ。



[HP]ピンクリボンくまもとで検索

肥後ほほえみの会

「気軽に話せる場所がほしい…
自身の経験から熊本で最初の
乳がん患者会を作りました」

平成16年11月に結成。「乳がんは心の
ケアも大切。だからこそ、気軽に話せる
場所が作りたかった」と、自身も乳がん
を経験した神田さん。若い人から患者
さんの家族まで、色んな人が参加しやす
い雰囲気づくりをしています。

*毎月第1金曜は、ほほえみの会 開催

くまもと県総合病院(中央区大江)の5階で、毎月第1金曜日の
13:30~15:00、患者さんや家族、誰でも参加してお話しできます。

*編集後記

乳がんといつても、紙面では書ききれないほど種類があつて驚きました。新しい治療法があつても早期発見が一番。忙しいとつい、検診や少しの不調を後回しにしがちですが、自分の体を向き合う時間も大切にしていきましょう。



代表／神田 昭子さん

問合せ／☎096-364-6000
参加無料／予約不要

体験者の声から知る、乳がん。

実際に乳がんを経験された方にお話を伺いました

Voice① 「先生を信じて一緒に頑張ろう」

34歳・女性 治療期間7カ月
「今の時代、ガンは治るから
丈夫」夫や友人の声が支えに

「近所の病院では『良性だろう』と言われ安心してたのも束の間、どんどん大きくなるしぐりに不安を抱き精密検査へ。ちょうど小林真央さんが亡くなったタイミングだったこともあり“がん=死”が頭をよぎり、告知された際は、とても動揺しました。セカンドオピニオンの結果も同じ、右乳房の全摘手術を受けることに。これで命が繋がるのなら…と迷いはありませんでした。手術前に2人の子どもとお風呂に入った時には『ママのおっぱい、バイ菌さんが入ったから片方なくなっちゃうの』と伝えました。手術後にお風呂で見たおっぱいに最初はビックリした様子でしたが、いまではそれが普通に感じているようです。何で私が…と思う時もありましたが、それを言っても結果は変わりません。治療に前向きに取り組むことがきたのも夫や友人の励ましおかげ。これからは家の事や家族・仲間を大事にしていきたいと思っています」

Voice② なってしまったものは仕方ない、と思って

47歳・女性 治療期間1年半
“前向きな気持ち”を大切に…

「何か違和感がある、と思って検査してもらったら3.5cmのしぐり。乳がんでした。手術で全部取られるのかな…と思っていたら、抗がん剤で小さくして温存手術ができるかもしれないと言われたので、軽んじているわけではありませんが“丈夫、なんとかなる”と治療に取り組むことができました。半年間の抗がん剤治療は正直辛かったです、病気は気持ちが大事だ!と思って、すべてを前向きに考えてました。ウイッグもヘアエンジニアリングで、家族からも“似合うね～”と言われるとちょびり嬉しくて…この機会に色々試してみましたね。そんな気持ちで過ごしていたからか、薬も効いて温存手術もできました。

今は治療法が多く、同じように治療している人もたくさんいるので、少しでも違和感がある人がいるなら、怖がらずに早めに検査を受けてほしいですね」

定期的な検診やセルフチェックでの早期発見が一番。

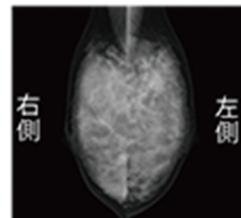
「マンモグラフィ」と「超音波検査」を上手に活用しよう

● 基本はマンモグラフィ

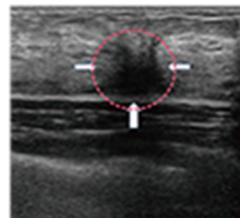
ただし、「高濃度乳腺」の人は
とくに超音波検査の併用が◎

マンモグラフィは、がんの疑いがある微細な石灰化物も検出できるので、乳がんの早期発見に役立っています。しかし、乳腺が発達している10~30代や、閉経前に多い「高濃度乳腺」の人は乳腺が白く映り込んでしまうため、とくに超音波検査との併用がおすすめ。

どちらも同じ患者さん(高濃度乳腺)の画像です



マンモグラフィ結果。全体的に白く写るので、しぐりは見えません



超音波検査の結果。左乳房の上部に1cm大の腫瘍(矢印で囲まれた部分)

【マンモグラフィの特徴】

- ・小さな石灰化でも検出できる
- ・自治体からは補助もあり
- ・圧迫により痛みを感じることも
- ・妊娠中は受けられない



【超音波検査の特徴】

- ・痛みがなく、妊娠中も可
- ・高濃度乳腺でも対応
- ・小さな石灰化は見えない
- ・画像の保存性は弱い

